

## 若葉台地区

# 若葉台青少年指導員連絡協議会



真夏の夜空を彩る大花火大会をはじめ、イベントが盛り沢山の若葉台。青少年指導員もさまざまな地域行事に携わっています。そのなかで、特に力を入れている取り組みを二つご紹介します。

一つ目は、7月の海の日地区センターと共催するイベント「ペットボトルロケットを飛ばそう」。若葉台中学校自然科学部の生徒の応援も得て、参加した親子20組がそれぞれロケットを作り上げます。グラウンドに移動して、ペットボトルに水と空気を充てんし、勢いよく発射！キラキラテープでデコレートした個性的なロケットはあっという間にどろんこになってしまいますが、子供たちはその迫力と飛行距離にびっくりし、水の噴射でびしょ濡れになりながらも繰り返し行列に並んで飛ばしています。リピーターも出るほどの、夏の人気行事です。

二つ目は冬季に開催している「青少年を考える集い」。青葉区のラグビースクールの先生方をお招きして、小学生にラグビーを体験してもらいました。2019年はラグビーW杯開催ということも影響してか、参加者は保護者も含め約80名と大盛況でした。W杯日本代表の活躍や、2020年オリンピック・パラリンピックに注目が集まる時期でもあるので、身体を動かすことの楽しさや、仲間と協力することの意味を考えるきっかけになればと思います。

こうしたイベントや若葉台での生活が、子供たちの健やかな成長につながることを願いながら、若葉台青少年指導員全員で日々の活動に取り組んでいます。

## 19回「今宿ふれあいキャンプ」



今宿地区では、毎年夏休みに地区内3校の小学校児童を対象に、お互いの交流を目的として、今宿連合会館を使った1泊2日のキャンプを行っています。

地区の方(老人会)とのふれあいを目的にブランドゴルフを楽しみ、その後は、参加者も夕食の準備を行い、流しそうめんや飯ごうで炊いたご飯でカレー、バーベキューを楽しみました。夜はキャンプファイアーの後、

いつも人気のナイトウオーク(肝試し)で盛り上がりました。2日目は目をこすりながらのラジオ体操・朝食の後、宿泊場所の周りを探検しました。最後は、みんなでスイカを食べて満足そうな様子でした。一晩一緒に過ごした後は、別の学校の友だちと気軽に話し合う姿がみられ、良い地区内交流が出来たと思います。



地区内交流の活動は、他に春休みに「社会科見学」も行っています。去年は、「はまぎんこども宇宙科学館」に行きました。これからも子どもたちが笑顔で交流が出来るような活動をして行きたいと思っています。

## 川井地区

# 『地域をきれいに』&『川井地区連合レクリエーション』

毎年、学校夏休みの最後の土曜日、恒例行事(主催:学地連、事務局:青指)が開催されます。今年で20回目を迎えた「都岡中学校発 地球環境クリーン作戦」です。地域の3小学校・1中学校を出発し、都岡中学校を目指し、通学路の清掃を行います。今年も小学生、中学生、PTA、町内会、役員を含め398名が参加しました。昨今の暑さを考慮しながらの活動です。

今年の、低学年感想文金賞の中に「・・・ゴミをひろったらみちがきれいになってました。みちがきれいになったら、そのみちをあるく人もうれしくなると思います。らい年も参加したい・・・」とありました。中学生は、「・・・この行事は、未来のために素敵な架け橋になる。」と締めました。

また、到着時参加賞として渡すアイスキャンディーは大好評です。

11月3日は、川井地区恒例「連合レクリエーション」が開催されます。青少年指導員は、スポーツ推進委員と共に、審判や進行を担当しています。レクリエーションの名目ですが、点数で順位が決まったり、地域の野菜等の賞品が出るため、老若男女入り乱れて怪我をしないか、心配するようなバトルもあります。普段接することが少ない9地区合同のイベントに、今後も進行役として積極的に参加したいと思っています。



# 第9回 旭区学校音楽祭

12月15日、横浜富士見丘学園中学校・高等学校で第9回旭区学校音楽祭が開催されました。

一部の合唱は8校が参加し、1000名の聴衆は元気で澄んだハーモニーに癒されました。

二部の合奏は5校が参加し、600名が吹奏楽の迫力あふれる演奏に聞き入りました。

今回の音楽祭は、旭区誕生50周年記念事業でもあり、例年にも増して子どもたちの歌声・演奏にもより磨きがかかっていたように感じました。

今回も、最後に「ふるさと」を会場全員で合唱し、大いに盛り上がった音楽祭は終了しました。



## 第17回

# 旭区大なわとび大会



2月8日、第17回旭区大なわとび大会が行われました。会場の旭スポーツセンターは空調・天井改修工事が終了したばかりで、この大会がこけら落としとなり、リニューアルオープンを飾りました。

区内18地区から低学年の部16チーム、高学年の部16チーム、混合10チームが出場し、跳ぶ数を競い合いました。早く終わってしまった子は、ほかの頑張っているチームを応援したり、互いに大きな拍手で喜びあったり、会場一体となって盛り上がっていました。

今年は、旭区誕生50周年を記念して、2本の回転する縄の中で音楽に合わせてダンスなどの技を披露するダブルダッチチームのパフォーマンスやお楽しみ抽選会もあり、みんな大喜びでした。



### 第17回旭区大なわとび大会

低学年の部	1位	万騎が原地区	363回	高学年の部	1位	万騎が原地区	1122回	混合の部	1位	二俣川地区	133回
	2位	川合地区	72回		2位	希望ヶ丘東地区	540回		2位	二俣川INT地区	101回
	3位	白根地区	59回		3位	左近山地区	197回		3位	白根地区	88回

## 青少年指導員表彰者

これまで長年地域で活躍されたみなさまが、表彰されましたので報告します。

旭区誕生50周年記念  
区政功労者表彰

大野 功 (二俣川)

神奈川県青少年育成活動  
推進者表彰

濱本 茂之 (希望が丘)

神奈川県青少年指導員表彰

佐藤 秀夫 (二俣川ニュータウン)  
栗田 徹 (二俣川)

横浜市青少年指導員  
永年勤続者顕彰(20年)

河原 斎 (鶴ヶ峰)

志村 孝子 (旭北)

内山 善彦 (若葉台)

佐野 三郎 (笹野台)

佐藤 秀夫 (二俣川ニュータウン)

堺 正克 (旭中央)

横浜市青少年指導員  
永年勤続者顕彰(15年)

岡本 正浩 (希望が丘南)

畑中 喜悦 (二俣川ニュータウン)

(敬称略)

## 編集後記

令和になり、青指だより89号、90号を発行することができました。

多くの催しの様子を伝えたり、各地区に協力いただき、地区だよりを掲載することができました。多彩な青少年活動をお伝え出来たと思います。

今後も頑張っていきますのでよろしくお願い致します。